

ケナシベニバナヤマシャクヤク

学名 *Paeonia obovata* Maxim. f. *glabra* (Makino) Kitamura

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

四国を除く全国に分布するが、生育地は少ない。県内においても生育する範囲は狭く、個体数も少ない。森林伐採、植林地の間伐の遅れにより生育環境が悪化し、人による採取もあって、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州(北～中部), 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地の林内。
現 状	自然林のものは人による採取のため少なくなっている。明るいスギ植林地にも生育がみられるが、群生していた所はほとんど採取されている。
備 考	